

◆日程 2017年3月18日(土)～3月19日(日)

◆メンバー L：須田健、富田、小山田

今回は東京都最高峰の山で標高2017M。今年にぴったりの山で前から楽しみにしていた。朝、奥多摩駅にて、待ち合わせ時間が多少遅れた為、当初、予定していたバスの1本後の9:30 出発のバスに乗り、10:17に鴨沢バス停からのんびりと登山スタート。

3月18日(土) 天候：晴れ

ようやく春めいてきて暖かく感じた。登り始めは雪も無く歩き易い道であった。しかしながらスギ林の為、スギ花粉が飛んでいたようで、くしゃみが何度も出た。小山田さんより海外



SINGAPORE から輸入した白い薬をいただき、試しに飲んでみると見事に完治。途中、水汲み場があったので少し水を補充。少し休憩して、歩き始めたが雪が積もっているところもなく、用意してきたチェーンスパイクを使わなくても歩くことが出来た。また少し登って行くと富士山がくっきりと見えた。木々には小鳥用に巣箱が設置され野鳥を大切にしている山である感じる。途中、ヒヨドリ？か何か分からない野鳥が急降下してきた。皆、何の鳥か分からなかったがカラスではなかった。

テント場のあたりに水くみ場がある為、須田さん、小山田さんに水を汲んで来て貰い、夕方に避難小屋に到着した。定員の20名の避難小屋であったが、ラッキーなことに登山者があまり居なかった為、我々3人も取って今回は持って来たテントは張らず、避難小屋に泊ることにした。荷物を置いて、すぐ近くの山頂へ行き写真撮影。山雑誌で見ていた雲取山にあった「木の看板」が無くなっており、代わりに石碑になっていた。

避難所の近くにトイレがあり須田さんのサンダルをお借りしたが、泥のぬかるみに足を突っ込んでしまい、サンダルを泥まみれにしてしまった。さらに靴下も泥まみれとなってしまう須田さんからスペアの靴下をお借りした。何かあった際にスペア靴下の必要性を感じた。外に出た際、須田さんが暗闇に2頭の鹿がいるのを発見。あたりは暗かったが、ヘッドライトに反射する鹿の眼を4つ確認出来た。その後少し早めに就寝することとなった。

夜中に一人でトイレに行った際に空を見上げると満天の星空が美しかった。暗闇に何か気配を感じギクリとした。黒いシュルエット、何か鼓動を感じる。目を凝らして見ると、ヘッドライトに反射する無数の光が見えた。鹿の群れであった、至近距離に10頭から20以上いた。空に満天の星、前方に無数の鹿の光る眼、幻想的な光景であった。すぐに須田さん、小山田さんに報告したいところであったが2人とも就寝中であった為、朝まで言えなかった。

CT：鴨沢バス停 10:20－廃屋 11:30－水場 12:00－七ツ石山分岐 13:40
－奥多摩小屋 15:20－雲取山山頂・避難小屋 16:30

3月19日(日) 天候：晴れ

翌日 3/19 下山あつという間に下り降り、タイミング良く帰りのバスが来ていたのでそれに乗れた。バスを降りると、奥多摩発電車もタイミング良く来てなんと 13 時過ぎには自宅へ帰宅した。最後になりますが、須田さん、小山田さん、靴下を貸してくれたり、お薬・お水を分けて頂き本当にありがとうございました！今度雲取山に違うルートでもう一度行ってみたいと思った。

CT：避難小屋 6:45－休 8:00－休 8:40－鴨沢バス停 9:45

(記：富田)

